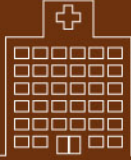


八鹿病院 ニュース



2009年
10月

公立八鹿病院基本理念

『私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。』

インフルエンザ対策について

院内インフルエンザ対策 ご協力お願いします

新型インフルエンザは、ご存知のようにすでに流行期に入っています。今後、日本人の4分の1は感染するだろうという見解もあります。

病院には、インフルエンザに感染すると重症化しやすい基礎疾患を持っておられる方が通院や入院されています。そのため、当院ではインフルエンザでの受診時やお見舞い時における院内での感染を防ぐために、取り決めを行っております。ご協力お願いします。

院内感染防止のため、極力 お見舞いはお控えください

院内には、抵抗力の弱い患者さんも多数入院されています。院内感染防止の為に、極力お見舞い(特にお子さん連れ)をお控え頂きますようお願い致します。

症状のある方は まず電話相談を

せき・発熱等症状のある方は、まず当院へ電話相談をしてください。相談後、受診をする場合は、**東玄関**より来院していただき、発熱外来専用受付で受診受付をしてください。受診時には患者さんおよびご家族の方は必ずマスクをつけてお越しください。



次の方は「西玄関」より ご来院ください

- 透析を受けている患者さん
- 心疾患・呼吸器疾患のある患者さん
- 糖尿病の患者さん
- 妊婦さん・乳幼児のお子さん

以上の患者さんは、インフルエンザにかかると重症化するおそれがあるため、できるだけ西玄関をご利用ください。
※該当する方でも、発熱症状等ある場合は、東玄関(発熱外来専用受付)をご利用ください。

「インフルエンザかな？」 せき・発熱等症状のある方へ

まずは電話相談を

公立八鹿病院 TEL 079-662-5555 (代)



受診の際は、**東玄関**よりご来院していただき、発熱外来専用受付(時間外受付)で受付してください。

●発熱外来専用受付●

【平日】

■午前8時～午前11時／発熱外来専用受付(時間外受付)

■午前11時～午後5時／総合診療科

【夜間・休日】時間外受付

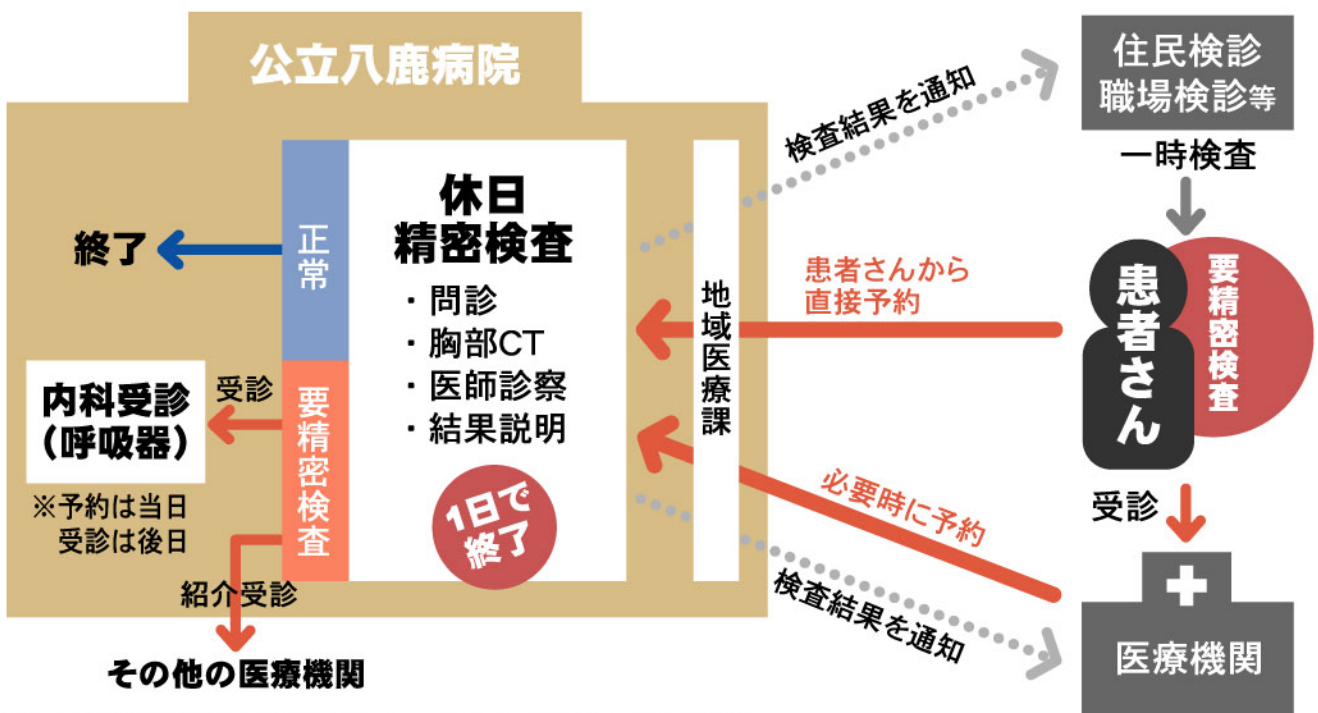
化が進んでいますが、高齢者などで手術ができない方でも、早期に肺がんが発見できれば、この放射線治療を受けることが可能となってきました。

早期肺がんの発見、 地域医療の向上へ

このように肺がんの診断、治療法は進歩していますが、依然早期に発見することが重要です。そのためには、胸部CT検査の受けやすい環境を地域に提供することが必要と考えました。ただ、現在の八鹿病院の状況ではスタッフが多分と言いがたいのですが、鳥取大学医学部呼吸器膠原病内科より医師派遣の支援が得られたことで実現しました。

最終的にはこの地域で早期の肺がんをより多く発見することにより、肺がんによる死亡率を低下させ、地域の医療の向上を図っていきます。

肺がん休日二次精密検査のながれ



※休日精密検査で要精密検査になった場合、当院の内科(呼吸器)受診もしくはその他の医療機関への受診が必要となります。

対象

肺がんの疑いでCT検診の実施が必要なケース

- 胸部レントゲン検査で要精密検査となった方
- 医療機関で、CT検査を指示された方

注意

呼吸困難や咳嗽、喀痰などの症状のある方は、平日に内科(呼吸器)を受診をしていただきます。

実施日

毎月 第4土曜日(午後)
翌日曜日(午前)

完全
予約制

【診察時間】

第4土曜日 13時30分～16時
翌日曜日 8時30分～11時

【定員】半日で各5人程度

※さらに精密検査が必要な場合は、内科(呼吸器)の予約で平日に受診となります。

<お問い合わせ> 公立八鹿病院 地域医療課

肺がん 検診

「休日精密検査」を始めました

平成21年9月より、八鹿病院において、鳥取大学地域医療研究所の事業として、肺がんの二次検診で必要な胸部CTの休日精密検査を始めました。



鳥取大学
地域医療学講座
地域医療研究所
准教授 **井岸 正**

肺がん精密検査には 胸部CT検査が必要

日本における死亡原因の第一位は「がん」ですが、その中でも肺がんによる死亡が最も多いとされています。肺がんの場合、自覚症状があつてから病院で診てもらつても、その時点では進行していて手遅れになることが多いため、ドックや肺がん検診を受けて、肺がんを早期に発見することがとても重要なこととなります。

通常、肺がん検診では胸のレントゲン写真を撮って何らかの異常を見つけますが、このレントゲン写真だけでは肺がんかどうかを判断することは困難です。そのため、この一次検診で異常を認められた場合、次に精密検査と

して胸部CT検査を行う必要があります。

平日来院が困難な方のため 休日に精密検査を

胸部CT検査は、すべての医療機関で検査ができるわけではなく、また検査可能な医療機関でも平日に受診をする必要があり、仕事を持っておられる方は不便を感じる方も思われます。

このため八鹿病院では、少しでもこの検査が受けやすくなるように、休日に胸部CT検査を行うこととしました。対象となる患者さんは、肺がんの疑いが指摘された方で「胸部レントゲン検査で要精密検査となった方」・「医療機関で、CT検査を指示さ

れた方」となります。

最新の検査システムや 放射線治療で診断

胸部CT検査で肺がんの疑いがある場合の確定検査として病変部よりがん細胞やがん組織を採取する必要があります。八鹿病院では気管支ナビゲーシヨンステム、経気管支肺末梢エコーガイドシース法などの最新の気管支内視鏡システムが導入されており、これにより従来よりも小さな早期の肺がんの診断が可能です。また、最近では、小さな肺がんでは手術を行わずとも、最新の放射線治療を行えば手術に匹敵する治療成績が得られるようになっていきます。この地域では、高齢



CT検査機器

-お薬手帳の中はこんな感じです-



▲患者さんに関する大切な情報を記入するページ。アレルギー歴や既往歴(今までにかかった病気)などがわかれば、より細かい処方が可能になります。

▶お薬の記録を記入するページ。記入されていれば、今飲まれている薬情報がわかり、各医療機関で共有できます。

何処でもらえるの？

…保険薬局で…

院外処方せんで調剤をする薬局なら、どこでももらえます。副作用・相互作用などの情報を含めて薬剤師に記入してもらいましょう。その場合、75歳以上の方は無料ですが、それ以下の方は情報提供料(40〜50円)が必要です。もちろん、手帳だけもらい、患者さんご自身でお薬手帳に記入することもできます。

…公立八鹿病院で…

八鹿病院に入院したときは、75歳以上の方には全員に、また75歳未満の方も申し出ていただければお渡しいたします。

次のような時には必ずご持参ください！

1 病院・医院・歯科医院・薬局に行く時

いつものかかりつけの医院や、

2 入院する時

医師・薬剤師が病院の外来や家庭で飲んでいた薬等をチェックし、入院中の治療に最適な薬を選択します。

3 薬局・薬店等で薬を買う時

薬剤師がお薬手帳の記録をチェックし(飲み合わせの悪い薬がないかなど)あなたに合う薬のアドバイスをします。

4 急に具合が悪くなった時

急に具合が悪くなって救急外来に行くとき、「いつも飲んでるお薬はありますか?薬の名前は?」と必ず聞かれます。そのようなとき、お薬手帳がお役に立ちます。

「お薬手帳」を活用しよう!

医療機関・薬局等で配布されている「お薬手帳」ですが、活用方法や使い方などがわからない方も多く、実際利用されている方は少ないのではないのでしょうか。今回、便利で効率的な「お薬手帳」をご紹介します。

Q.「お薬手帳」って、何ですか？

先日、調剤薬局で「お薬手帳をお持ちですか？」と聞かれました。持っていたら、何か得する活用法でもあるのですか？



A. お薬手帳は、患者さんと薬剤師・医師が情報を共有するための便利帳です。

お薬手帳の記載内容を活用することで、医師や薬剤師に話したいことを忘れず、効果的なコミュニケーションをとることができます。



お薬手帳の活用法

以前、飲んで合わなかった薬のチェックに活用

薬を飲んだ時に副作用が出たり、合わないと感じるがあった場合、その薬とそのときの症状などを書き込んでおきましょう(もしくは、書いてもらいましょう)。

いつもと違う病院や薬局でお薬手帳を見せて、あなたに合わない薬を事前にチェックすることができます。

薬の飲みあわせのチェックに活用

複数の病院にかかって多くの薬を処方されていたり、市販薬を買って飲んでいる場合、薬の飲み合わせによっては効果が強く現れて副作用が出たり、逆に効果が弱まってしまうことがあります。お薬手帳を事前に見せて、医師や薬剤師に薬の飲み合わせをチェックしてもらいましょう。

病状の変化のチェックに活用

薬を飲んだ時の症状の変化を記入しておきましょう。例えば、「この薬を飲んだら良く効いて楽になった」「だるくなった」「のどが渇くようになった」「眠くなった」など、まめに日記のように書いておきましょう。

また、次回受診するときのために、相談したい内容を書いておくのもオススメです。

平成21年
8/3(月)
4(火)

ふれあい看護体験が おこなわれました!

ふれあい看護体験は毎年全国各地で開催され、その目的は、「市民と医療関係者などが交流して医療や看護について考えていくきっかけをつくり、患者さんとのふれあいを通して看護することや人の命について理解と関心を深める機会を提供する」ことです。また高校生をはじめ、一般市民の方々にも幅広く参加を呼びかけ、将来の職業選択の一助けとして考える場ともなっています。

今年の但馬では、4つの病院が129名の高校生(1年生～3年生)を受け入れ、体験していただきました。八鹿病院では49名(看護師コース17名、薬剤師コース14名、セラピストコース11名、検査技師コース7名)の方が、各部署で体験をされました。

他の病院では、看護師コースだけですが、当院は例年多職種にわたって体験希望者が多いのが特徴です。



—サテライト薬局を見学—

なかには、毎年参加し3回目という高校生も2名おられ、しっかり目標を持って望む姿勢が感じられました。体験する中で、患者さんとの会話やふれあいを学ぶとともに、働く事の難しさや大変さなど病院の現実を体験してみて、ますます興味がわいてきたなど、口々に感想を述べていたのが印象的でした。



—患者さんの洗髪を体験—



—足浴や手浴を体験—



—検査科を見学・体験—

新しく着任された先生のご紹介

～よろしくお願ひします～



【小児科】 9月1日付

いしい よしき
石井 良樹 先生

地域の子供をその地域で守る、そんなあたりまえの事を目標にがんばりたいと思います。



【内科】 10月1日付

はやぶち たつや
早淵 達也 先生

初めまして。若輩者ではございますが、但馬の皆様にご貢献できるよう努めます。よろしくお願ひします。



【内科】 10月1日付

しろいし じゅん
白石 順 先生

若輩者ですが、精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

退任された先生のご紹介

～お世話になり、ありがとうございました～

9月30日付

【内科】 **山村 美樹 先生**

9月30日付

【内科】 **八幡 晋輔 先生**